

群馬県立がんセンター



群馬県立がんセンター

理 念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

基本方針

- 1 患者さんの権利と意思を尊重します。
- 2 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
- 3 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

ロゴマーク



巻頭言

令和2年7月

群馬県立がんセンター 院長

鹿沼 達哉

群馬県立がんセンターにおける令和元年度の活動実績を取り纏め、「年報 48 号」として発行する運びとなりました。

令和2年は新型コロナウイルス対策で始まりました。がん患者さんの診療を継続できるよう、職員はもとより、面会者、患者さんご自身にも、予防策を取るようお願いし、感染しないさせない、持ち込まない、拡散しない、持ち帰らない、を呼びかけました。院内感染対策チームとともに新型コロナウイルス対策会議を定期的に行き、トリアージ病棟の確保、ゾーニング、来院者の検温を実施し、保健所を初め、発熱者・帰国者外来を開設している病院、病院間調整センターと連携し、適切なPCR検査の実施を心がけました。

がんという病気の性質上、不要な受診はなくとも、不急の受診を控えていただくよう、無症状の要精査判定の方々の精密検査、内分泌療法中の患者さんや無症候の定期検診の患者さまには受診を差し控えていただき、予約日の延期、電話再診などで対応しました。病院での密を避け、治療を先延ばしできない患者さんの安全安心を図れるよう配慮しました。防護服や手術着などが逼迫し、手術の延期等も懸念されましたが、善意のご寄付などもあり、何とか凌ぐことができました。幸い、来院される方のご理解とご協力により、院内感染を起こすことなく、第一波を乗り切ることができました。少し落ちついてきた今、対策型検診が再開され、精密検査の受け入れ準備も整えました。反省点なども踏まえながら、第二波への準備を整えているところです。

がんになっても働きたいという患者さんの希望に沿うため、外来通院センターを拡充してから4年が経過し、外来患者数や化学療法件数は増加しました。がんゲノム医療連携病院の指定を受け、パネル検査が保険収載となり、標準的治療のなくなった再発固形がんの患者さんに、有効性の高い治療を届けられるよう、国立がん研究センター中央病院の連携施設として、院外からも多くの患者さんの検査を受けています。保険適応薬は限られますが、治験薬や臨床試験薬が患者さんの希望を繋いでいます。

手術支援ロボット導入のメリットが見えにくいというご指摘がありますが、診療体制は充実してきています。前立腺手術は元より、消化器外科手術の領域での施設認定も進み、ほぼフル稼働の状況となっています。骨盤内臓器の手術に向いていると指摘されているロボット支援手術ですが、食道がん手術への適応も進み、患者さんの早期回復や神経温存に有用性が示されてきています。

血液や女性特有の悪性腫瘍疾患が多い病院ですので、ゲノム医療の普及に伴う遺伝性腫瘍へ

の対応にも力を注いでいます。近隣の病院とも連携し、遺伝相談外来等を整備・拡充して行きたいと考えています。

群馬県のがん医療の一翼を担い、高度医療・先進医療、臨床研究等を実践しつつ、健全経営の努力にも引き続き取り組んで参ります。ご指導とご支援を賜りたく存じます。

目 次

第 1 章	沿	革	1
第 2 章	組	織	3
	1	病 院 組 織 図	3
	2	職 種 別 職 員 数	4
	3	院 内 各 種 委 員 会 の 開 催 状 況	5
	4	看 護 部 組 織 と 業 務 の 概 要	7
第 3 章	施 設	の 概 要	13
	1	土 地	13
	2	建 物	13
	3	施 設 配 置 図	13
	4	主 要 医 療 器 械	14
	5	診 療 科 目	15
	6	許 可 病 床 数 及 び 稼 働 病 床 数	15
第 4 章	業 務	の 概 要	17
	1	外 来 患 者 の 動 態	17
	2	入 院 患 者 の 動 態	19
	3	入 院 回 数 別 ・ 部 位 別 ・ 退 院 患 者 数	25
	4	診 療 収 入 の 行 為 別 分 類 額	27
	5	腫 瘍 登 録 患 者 数	29
	6	調 剤 ・ 製 剤 等 の 状 況	38
	7	臨 床 検 査 の 状 況	44
	8	放 射 線 診 療 の 状 況	48
	9	内 視 鏡 検 査 の 状 況	51
	10	手 術 の 状 況	52
	11	麻 酔 法 別 件 数	53
	12	術 後 病 床 (I C U) の 状 況	53
	13	栄 養 管 理 の 状 況	54
	14	が ん 相 談 支 援 セ ン タ ー の 状 況	56
第 5 章	経 理	の 概 要	61
	1	経 理 の 状 況	61
	2	経 営 の 分 析	64
	3	図 書 整 備 の 状 況	67
第 6 章	研 修		69
	1	看 護 部 門	69
	2	受 託 研 修	81
	3	院 内 カ ン フ ェ レ ン ス 一 覧	82
第 7 章	診 療 状 況 及 び 剖 検		83
	1	臓 器 別 診 療 状 況	83
	(1)	上 部 消 化 管 外 科	83
	(2)	下 部 消 化 管 外 科	83
	(3)	肝 ・ 胆 ・ 膵 外 科	84
	(4)	乳 腺 科	85
	(5)	呼 吸 器 外 科	86
	(6)	頭 頸 科	87
	(7)	泌 尿 器 科	88
	(8)	婦 人 科	89
	(9)	血 液 内 科	90
	(10)	消 化 器 内 科	90

	(11)	呼 吸 器 内 科	91
	(12)	放 射 線 科	92
	(13)	形 成 外 科	95
	(14)	齒 科 口 腔 外 科	96
	(15)	疼 痛 治 療 部	97
	(16)	外 来 ・ 通 院 治 療 セ ン タ ー	98
	(17)	精 神 腫 瘍 科	98
	2	剖 検 症 例 一 覧	99
第 8 章		研 究 状 況	101
	1	食 道	101
	2	胃	101
	3	大 腸	102
	4	肝 胆 膵 外 科	103
	5	乳 腺 科	103
	6	頭 頸 科	104
	7	呼 吸 器 外 科	105
	8	泌 尿 器 科	105
	9	婦 人 科	107
	10	血 液 内 科	108
	11	消 化 器 内 科	108
	12	呼 吸 器 内 科	110
	13	放 射 線 科	111
	14	形 成 外 科	113
	15	麻 酔 科	113
	16	齒 科 口 腔 外 科	114
	17	診 療 放 射 線 技 師 の 研 究	114
	18	臨 床 検 査 技 師 の 研 究 活 動	115
	19	薬 剤 部 の 研 究 活 動	116
	20	看 護 部 の 研 究 活 動	117
	21	緩 和 ケ ア チ ー ム の 活 動	118
	22	臨 床 研 究 費 に よ る 研 究 課 題	118
	23	受 託 研 究	121
	24	学 会 ・ 研 究 会 の 会 長 ・ 世 話 人	121
第 9 章		院 内 学 会	123
	1	院 内 学 会	123
第 10 章		研 究 業 績	149
	I	論 文	149
		A 欧 文 論 文	149
		B 邦 文 論 文	152
	II	著 書	153
	III	学 会 発 表	154
	IV	講 演	162
	(附)	医 師 紹 介	165
		職 員 名 簿	168
		職 員 異 動 名 簿	172
		主 な 院 内 行 事	174
		編 集 後 記	175
		広 報 委 員 会 年 報 編 集 部 会 委 員 名 簿	175